

「寒い」と言えず…つらい

オフィス冷房28度の現状 女性たちの訴え

オフィスの二八度冷房が徹底されない現状を紹介した先日の「EYE」に反響が寄せられた。「寒さに悩む女性たちの思いも取り上げてほしい」という女性読者の声。自衛策を超えた職場全体の理解と対策を訴えている。

頭痛・肩凝り…必死の自衛策

「職場全体で見直して」

「時間がたつにつれ」と性。公共機関でアルバイト。ひざ掛けをしたり、使んどん体が冷えてきて頭がをしていたころの体験をい捨てカイロをおなかに当痛くなり、医務室に行く口。あらためて話を聞くと、寒さをしのぎもありました。机の近くに空調の吹ましました。あまりに寒いとど届いたときは深刻なき出し口があり、夏になるは、黙って冷房のスイッチを「強」から「弱」に切り替えたこともあります。



冷房で体を冷やさないための自衛策。オフィスでカーディガンや羽織り、ひざ掛けをする女性は少なくない。青葉区のおフィスビル

女性の勤め先は二八度冷房を励行している職場が多。それでも吹き出し口の近くでは体感温度は下がらず、頭痛で仕事が続けられない状況だったという。二五度、二六度の冷房が当たり前になっていく職場では、さらに悩んでいる職場だ。青葉区内の不動産会社に勤める二十代の女性社員は「腕が痛くなったり、

■冷房による症状

頭痛、肩凝り、手足のしびれ、便秘、食欲不振、生理不順、若年性更年期障害など、クーラーが普及し始めた1970年代に現れ、冷房病とも呼ばれる。エスエス製薬(東京)が今年4月に全国の20～50代の女性1000人にインターネットを通じて実施した調査結果では、冷房による不快な冷えを感じたことがある人は76.8%。具体的な冷房病対策としては、汗



空調環境改善に取り組む企業も

肩が凝ったりしてその場にいらなくなったりすることもありますが、トウガラシ入りの梅昆布茶などを飲んで体を温めています。暑い思いを温めてくれる男性社員だ。けや来社するお客さんのことを考える。冷房温度を上げてほしい」と訴えている。ほかにもいくつかの職場に当たったところ、「暑が影響を声大にして言えない」との苦情。はがきを寄せた女性は「アルバイトだったので肩が狭く、自分からは言い出せませんでした。職場全体で見直す雰囲気がつくれないうのでしょか」と訴えている。

冷房の悩みは下着の売れ行きにも現れる。大内屋(青葉区一番町)ではこの時期、女性用腹巻きや毛糸のショーツがよく

「暖房ムラを解消してほしい」という女性社員の声を入れて踏み切った。威力はファン設置後、スト削減とともに、体調管理を気遣う企業が増えた結果ではないか。空調の対流を促せば温度も上げられ、冷房病の予防につながる。一平方メートル三十八百円から施工でき、冷房費も約三割節約できる」と話している。天井にファン(四角い部分)を取り付け、冷房温度を上げた宮城第一信用金庫本店営業部(青葉区中央)



冷房病の予防に役立つ。天井にファンを取り付け、冷房温度を上げた宮城第一信用金庫本店営業部(青葉区中央)